



家庭でのウォームビズ実施状況調査について

1. 調査概要

チーム・マイナス6%（環境省）では、温暖化対策の一つであるウォームビズの取組をより一層推進することを目的として、北海道商工会連合会女性部、（株）ダイエー、（株）グルメシティー北海道等の協力を得て、家庭でのウォームビズの実施状況についてアンケート調査を実施しました。

本調査は、カード式室温計（別紙1参照）とアンケート調査票（別紙2）を配布する方法で実施しており、北海道商工会連合会女性部にご協力頂いた調査では、北海道全道の9割の市町村で計1620名（全162支部、各10名、計1620名）を対象として、（株）ダイエー及び（株）グルメシティーにご協力頂いた調査では、北海道内にある両社の合計25店舗、計従業員2450名、来店者2300名を対象として、それぞれ調査を実施しました。

また、その他にも、札幌市役所や札幌市円山動物公園の協力を得て同様の調査を実施し、結果、全体で1963世帯から調査回答を得ました。調査結果は、以下のとおり。

なお、「昨年度の暖房の状況との比較」の調査回答数（1463世帯）については、12月末から先行して実施した北海道商工会連合会の調査において、原油高が進む状況に対応して追加的に調査を行ったため、全体の調査回答するより少なくなっています。

2. 調査結果

調査全体（1963世帯）では、図1、図2のとおり、寒さの厳しい北海道においても、3割以上（34%）の世帯が室温20度を実践している一方で、夏日といわれる25度以上に設定する世帯が約1割（最高は31度）いるなど未実践者層は7割弱で、あり平均室温も約22度（21.73度）でした。

また、昨年度における暖房の設定状況との比較を聞いた調査では、「昨年度よりも暖房温度を低く設定した」と回答した世帯が有効回答全体（1463世帯）の46%（図5参照）、そのうち「20度以下に設定した」と回答した世帯は43%（図6参照）で、平均室温は約21度（21.25度：図7参照）でした。

一方、北海道の室温状況の分析のため、北海道外の東京都、埼玉県、福島県、宮城県、新潟県に在住する方から調査を行ったところ、調査世帯数は少ないですが（137世帯）、室温20度を実践している世帯は70%にぼり、25度以上に設定している世帯はわずか3%で、平均室温も約19度（19.24度）でした。

なお、ウォームビズのアイデア及び感想等については、今後、その主なものをチーム・マイナス6%のHPを通じて紹介する予定です。

3. 考察

今回の調査では、一般的に室温20度を呼び掛けるウォームビズの実践が難しいと言われていた北海道でも、3割以上の世帯が室温20度を実践しており、北海道を始め、寒さの厳しい地域の方々に対して20度実践が可能であることを広く伝えていくとともに、夏場に冬物衣料等の準備を始める繊維業界等の各業界にもこれらの調査結果を伝えるなどして、冬場においても暖かく過ごすことのできる商品開発を促していきたいと考えています。

4. 主なアンケート調査の詳細

①北海道商工会連合会女性部の協力による「家庭におけるウォームビズ室温調査」

(1)調査実施期間 2007年12月26日（水）～2008年1月30日（水）

- (3) 調査内容
- ・ 通常の室温、
 - ・ 2日目以降ウォームビズに取り組んだことによる室温の推移
 - ・ ウォームビズのアイデア
 - ・ 本取組を行ったことの感想

(4) 調査対象 道内全域162市町村の合計1,620名

(5) 調査主体 環境省

②(株)ダイエー、(株)グルメシティ北海道の協力による

「冬の室温状況及び暖房に頼らないウォームビズ・アイデア調査」

(1) 調査実施期間等 2008年2月1日(金)～2月29日(金)

回収期限：2008年3月16日(日)

(2) 調査方法 カード式室温計を配布し調査票へ記入頂くアンケート調査
なお、調査票等の配布・回収場所は各店サービスカウンター等

- (3) 調査内容
- ・ 通常の室温、
 - ・ 2日目以降ウォームビズに取り組んだことによる室温の推移
 - ・ ウォームビズのアイデア
 - ・ 本取組を行ったことの感想 等

(4) 調査対象 調査対象 ダイエー関連施設25店舗の従業員2,450名と
同店舗のお客様2,300名

<実施店舗内訳>

○ダイエー9店舗(琴似、新さっぽろ、カテプリ新さっぽろ、
麻生、東札幌、岩見沢、栄町、上磯、滝川)

○グルメシティ北海道14店舗(五稜郭、田家、富岡、柏木、
湯川、伊達、山の手、八雲、深堀、湯川電停前、弁天、万代
岩内、富川)

○事務所2カ所

(ダイエー北海道販売本部札幌事務所、グルメシティ北海道本社)

③その他

(1) 調査実施期間 平成20年2月～3月

(2) 調査内容等 上記②のとおり

(3) 調査対象 札幌円山動物公園で実施した環境省主催の温暖化影響展に参加した方々
地球温暖化防止活動推進センターの方々

図1

北海道における暖房時の室温状況
(全数1963件)

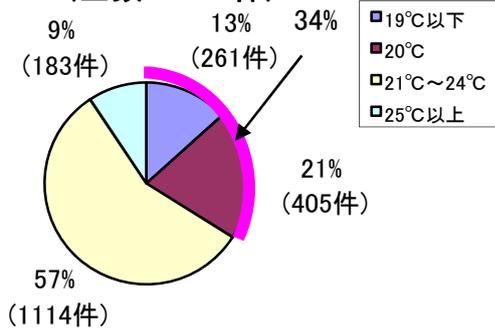


図2

北海道における暖房時の室温状況
(室温別:全数1963件)

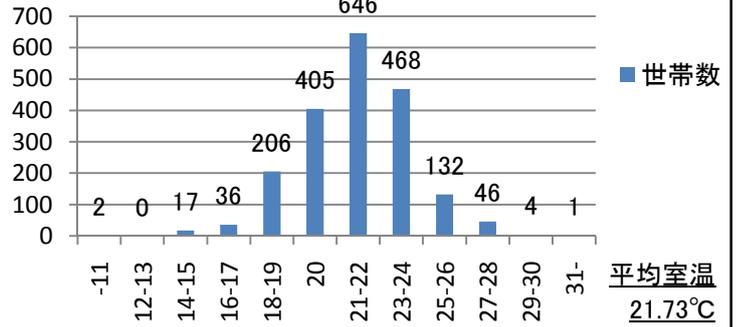


図3

北海道における暖房時の室温状況
(昨年度の暖房設定状況を回答した世帯(1463件)の室温状況)

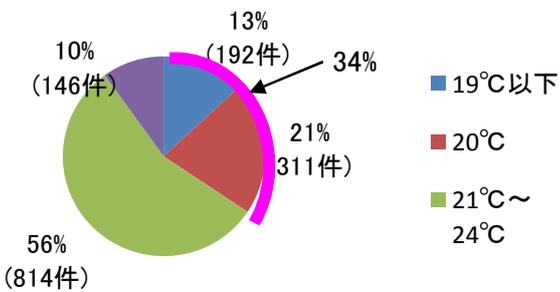


図4

北海道における暖房時の室温状況
(昨年度の暖房設定状況を回答した世帯(1463件)の室温状況:室温別)

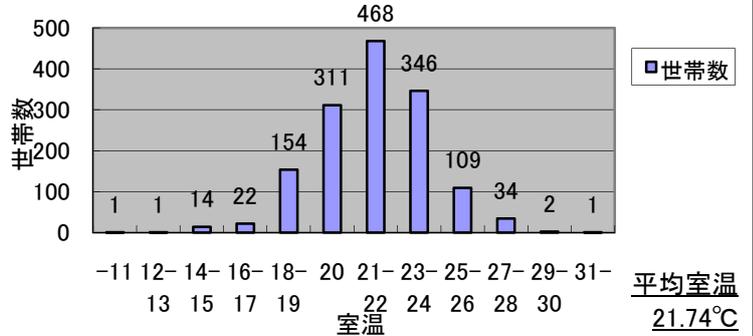


図5

昨年度の暖房設定状況との比較
(世帯数:1463件)

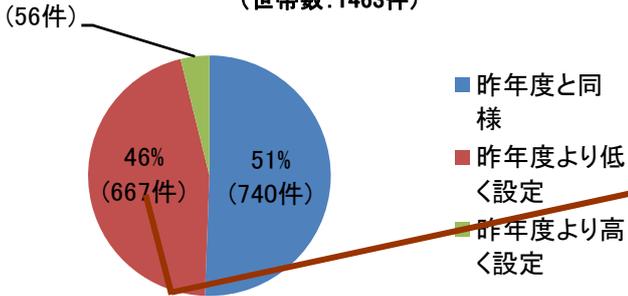


図6

「昨年度より暖房温度を低く設定している」と回答した世帯(667世帯)の室温状況

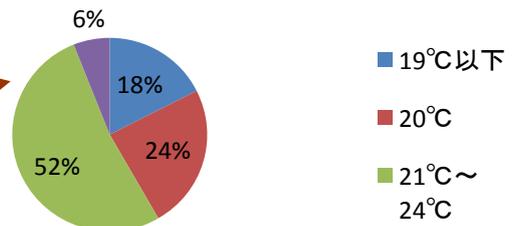
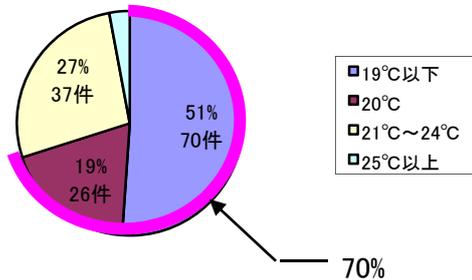


図7 北海道外(東京、埼玉、福島、宮城、新潟)

4件

での暖房時の室温調査結果

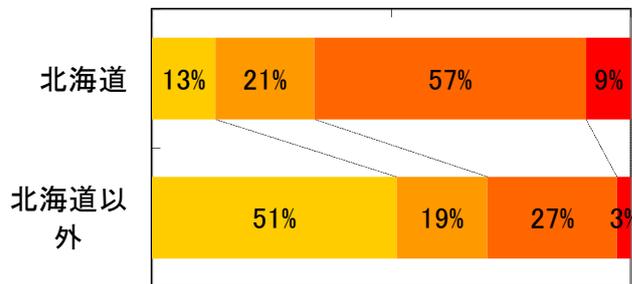


70%

図8



0% 50% 100%



※円グラフ中のパーセントの数値は、小数点第1値を四捨五入した値です。